



大学等連携推進法人「大学アライアンスやまなし」



連携開設科目の履修について

連携開設科目とは…

大学等連携推進法人制度により山梨大学、山梨県立大学において開設された科目であり、相手大学の科目を自大学の科目としてみなすことができます。それぞれの強みを生かし、山梨大学は理系、山梨県立大学は文系科目を多く開設しています。学生のみなさんは、自大学の授業科目に加え自大学以外で開講される連携開設も各大学の教養教育科目として受講可能となります。

山梨県立大学の連携開設科目を履修する場合は、以下に従い履修申告、受講をしてください。

1. 履修の条件等について

1-1. 履修

原則、全学部1～4年生が対象です。

定員を設けている科目を除き、抽選処理はありません。履修希望者は全員履修が可能です。

P.3「令和5年度連携開設科目（主幹大学：山梨県立大学）一覧」及びP.4～5「令和5年度連携開設科目（主幹大学：山梨県立大学）一覧（PENTAS YAMANASHI）」参照

1-2. 卒業単位への算入

全学共通教育科目の教養教育科目として卒業必要単位数（上限30単位）に算入されます。

2. 履修申告から単位修得までの流れ



2-1. 履修申告

通常の Web 申告画面での履修申告ではなく、Moodle での履修申告が必要です。

履修申告期間（令和5年4月5日（水）9:00～7日（金）16:30）内に Moodle にて申告してください。

Moodle 履修申告用の URL は山梨大学ホームページに掲載いたします。

山梨大学 HP→在学生の方→修学案内・履修申告 <https://www.yamanashi.ac.jp/campuslife/332>

※ 履修申告の方法が分からない場合、教務支援室共通科目グループ（総合研究棟2階①番窓口）でも受付をしますので、期間内にお越しください。

Caution! 申告の際は、必ず P.3「令和5年度連携開設科目（主幹大学：山梨県立大学）一覧」、P.4～5「令和5年度連携開設科目（主幹大学：山梨県立大学）一覧（PENTAS YAMANASHI）」及びシラバスにおいて授業実施形態等を確認してください。

Caution! 医学部以外は、教養教育科目を1学期に4科目8単位までしか履修できません。

教養教育科目である連携開設科目を履修する場合、Web 申告では教養教育科目を何科目履修できるか確認をしてから履修申告してください。

2-2. 抽選（定員を設けている科目のみ）

定員を設けている科目（P.3「令和5年度連携開設科目（主幹大学：山梨県立大学）一覧」及びP.4～5「令和5年度連携開設科目（主幹大学：山梨県立大学）一覧（PENTAS YAMANASHI）」）を参照）は抽選となる可能性があります。抽選になった場合のみ、4月10日（月）18時頃にYINS-CNSでお知らせします。

2-3. アカウント取得

山梨県立大学から遠隔授業を受講するためのアカウントが学籍番号@yamanashi.ac.jp宛てに届きます。4月11日（火）までに配信される予定です。

2-4. 受講

受け取ったアカウントを利用して、山梨県立大学の授業を受講してください。
山梨県立大学の授業は4月12日（水）からスタートします。

Caution! 山梨大学と山梨県立大学の授業日は異なります。「3. 学年暦の違い」を参照してください。

2-5. 成績

山梨大学の授業科目と同様、修得単位通知書等で確認してください。

3. 学年暦の違い

連携開設科目を受講する際、山梨県立大学の授業の日程に合わせることでありますが、山梨大学の授業日と山梨県立大学の連携開設科目の授業日が重なる場合は、山梨大学の授業に出席してください。連携開設科目については、授業担当教員の指示に従い、オンデマンド型（非同期）授業を受講してください。
P.6～7「令和5年度連携開設科目授業開講日」を確認してください。

Caution! 前期火曜、前期水曜、後期火曜、後期水曜開講科目の履修を希望している場合は、P.6～7「令和5年度連携開設科目授業開講日」にて重なる授業日を必ず確認してください。

問い合わせ先

履修申告・成績付与について

山梨大学 共通教育・教務システム企画室 TEL: 055-220-8731 Mail: uy-kyoumu@yamanashi.ac.jp

アカウントについて

山梨県立大学 学務課（教務担当） TEL: 055-224-5360 Mail: iidakyoumu@yamanashi-ken.ac.jp

令和5年度 連携開設科目（主幹大学：山梨県立大学）一覧

※ 受入定員*について、履修希望者は履修可能です。抽選処理はありません。

※ 下表の「履修学期」を確認し、集中講義であっても連携開設科目の集中講義は「履修学期」に履修申告をしてください。

※ 下表の「備考」に"面接授業"と記載されていない科目は**オンライン授業**です。

※ シラバスにおいて詳細を確認してください。

			時間割番号	授業科目名	単位数	履修 年次	開講 時期	曜日	時限	科目担当者名	定員	備考
全学共通教育科目	人間形成	キャリア形成	CBCK01	VUCA時代のキャリアレジリエンス	2	1～4	前期	水	6	水上 篤/杉山 歩	60	山梨県立大学にて面接授業 地域のチャレンジ1、2は同時に履修することが望ましい。
			CBCK02	地域のチャレンジ1	1	1～4	後期 10/6～11/24	金	5	堀内 久雄/杉山 歩	15	※地域のチャレンジ1、2はそれぞれ8コマ実施・1単位の科目です。
			CBCK03	地域のチャレンジ2	1	1～4	後期 12/1～2/2	金	5	堀内 久雄/杉山 歩	15	※3科目はPENTAS YAMANASHIの科目です。
	語学教育	(必修) 韓国語 外国語	CHBK01	韓国語Ⅰa	2	1～4	前期	月	1	安 仁淑	*	山梨県立大学にて面接授業
			CHBK02	韓国語Ⅰb	2	1～4	後期	月	1	安 仁淑	*	※語学教育科目の単位取得要件には含まれない科目です。
		(選択) 日本語	CJAK01	アカデミック・ジャパニーズ (Writing)	2	1	前期	金	3	原田 かおり	5	山梨県立大学にて面接授業 ※留学生限定の科目です。
			CJAK02	アカデミック・ジャパニーズ (Reading)	2	1	前期	金	4	原田 かおり	5	使用言語：日本語
	人文科学		CACK02	人間と文化	2	1～4	前期	金	5	浅野 充	*	
			CACK03	人間と芸術－文学	2	1～4	前期	水	3	大村 梓	*	
			CACK04	日本語の方言と山梨	2	1～4	後期	金	3	吉田 雅子	*	山梨県立大学にて面接授業
			CACK05	文化とコミュニケーション	2	1～4	後期	木	3	兼清 慎一	*	
			CACK06	生と幸福	2	1～4	前期	月	3	橋爪 大輝	*	
			CACK08 A	人間と思想（飯田）	2	1～4	後期	月	2	橋爪 大輝	*	
			CACK08 B	人間と思想（池田）	2	1～4	後期	金	2	橋爪 大輝	5	
			CACK09	人間と心	2	1～4	前期	水	3	阿部 美穂子	5	
			CACK10	日本の歴史	2	1～4	前期	火	2	中野 賢治	*	
			CACK11	欧米の歴史Ⅰ	2	1～4	前期	木	4	浅川 公紀	*	
			CACK12	倫理学	2	1～4	前期	金	2	橋爪 大輝	*	
	社会科学		CASK01	社会と政治	2	1～4	後期	月	2	申 龍徹	*	
			CASK02	社会と法	2	1～4	前期	月	2	澁谷 彰久	*	
			CASK03	環境論	2	1～4	後期	金	3	箕浦一哉	*	
			CASK06	災害支援	1	1～4	前期	集中	1～4	渡邊 裕子・他	*	山梨県立大学にて面接授業 ※8コマ実施・1単位の科目です。
			CASK07	国際協力	1	1～4	前期	月	3	川元克秀、吉田均	*	山梨県立大学にて面接授業 ※8コマ実施・1単位の科目です。
			CASK08	生活環境論	2	1～4	前期	火	5	箕浦 一哉	*	
			CASK10	簿記論	2	1～4	前期	金	1	石山 宏	*	
			CASK11	簿記演習	1	1～4	後期	金	1	石山 宏	*	※15コマ実施・1単位の科目です。
			CASK13	メディア・リテラシー	2	1～4	前期	木	3	兼清 慎一	*	
	自然科学		CANK01	宇宙の科学	2	1～4	前期	月	2	高橋 真理子	*	
			CANK02	生物の科学	2	1～4	後期	水	4	北原 正彦	10	
	健康科学		CAHK01 A	運動と人間－講義（飯田）	2	1～4	後期	月	1	木内 政孝	*	
			CAHK01 B	運動と人間－講義（池田）	2	1～4	後期	金	3	木内 政孝	*	
			CAHK03	発達と教育の心理	2	1～4	後期	水	3	阿部 美穂子	5	

令和5年度 連携開設科目（主幹大学：山梨県立大学）一覧（PENTAS YAMANASHI）

※1 PENTAS YAMANASHIについては <https://www.pentas.yamanashi.jp/> で詳細を確認してください。

※2 プログラム修了の要件についてはホームページ（<https://www.pentas.yamanashi.jp/>）のプログラム紹介のページを確認してください。

※3 PENTAS YAMANASHIの科目について、原則として山梨県立大学での面接授業です。下表の「場所」を確認してください。

※4 通常とは異なる開講時間の科目がありますので、下表の「時間帯」を確認し、他の履修科目と重ならないよう注意してください。

※5 下表の「履修学期」を確認し、集中講義であっても連携開設科目の集中講義は「履修学期」に履修申告をしてください。

PENTAS YAMANASHIプログラム														プログラム種類	科目分類	選択/必修
時間割番号	科目名	単位	履修年次	担当	履修学期	実施学期	実施日	曜日	時間帯	受入定員	場所					
全学共通教育科目 その他	キャリア形成	CBCK01	VUCA時代のキャリアレジリエンス	2	1～4	水上 篤/杉山 歩	前期	前期	4/12～7/26の水曜日	水	18:10～19:40	60	県立大飯田C	共通	VUCA	必修
		CBCK02	地域のチャレンジ1	1	1～4	堀内 久雄/杉山 歩	後期	後期	10/6～11/24の金曜日	金	16:30～18:00	15	県立大飯田C	共通	VUCA	選択
		CBCK03	地域のチャレンジ2	1	1～4	堀内 久雄/杉山 歩	後期	後期	12/1～2/2の金曜日	金	16:30～18:00	15	県立大飯田C	共通	VUCA	選択
	その他	CPYK01	グローバルマインドとスキル	2	1～4	嶋津 幸樹	後期	後期(集中)	12/9、12/16、12/23、1/6、1/20	土	13:10～18:00	5	県立大飯田C	共通	VUCA	選択
		CPYK02	地域しごと概論（経営マインド）	1	1～4	手塚 伸/今井 久	前期	前期	4/13、4/20、4/27、5/11、5/25、6/1、6/8、6/15	木	18:10～19:40	10	県立大飯田C	共通	VUCA	選択
		CPYK43	地域の豊かさ	2	1～4	今井 久	前期	前期(集中)	4/14 4/21、4/28、5/12、5/19、5/26、6/2、6/9	金	16:30～18:00 16:30～19:40	10	県立大飯田C	共通	VUCA	選択
		CPYK04	問題発見の技法	1	1～4	佐藤 文昭	前期	前期	4/12～6/7の水曜日	水	16:30～18:00	5	県立大飯田C	共通	VUCA	選択
		CPYK05	地域資源の保全と活用	2	1～4	堀内 久雄/杉山 歩	前期	前期(集中)	4/12、4/19、4/26、5/10、5/17、5/24、5/31、6/7、6/14、6/21、6/28、7/5 8～9月中のいずれか1日	水 未定	16:30～18:00 未定(3コマ)	15	県立大飯田C 現地(県立大飯田C集合)	観光	技能	必修
		CPYK06	料理とワインのマリアージュ	1	1～4	長谷部 賢/堀内 久雄/杉山 歩	後期	後期(集中)	10/4 10/11、10/18、10/25、11/1 11/8	水 水 水	14:50～16:20 15:00～17:00 15:00～17:00	7	県立大飯田C ロゼママン(甲府市内) 県立大飯田C	観光	技能	選択
		CPYK07	通訳入門実践	1	1～4	新井 達司	後期	後期(集中)	10/14、10/15、11/11 11/12	土、日 日	13:10～16:20 10:30～16:20	5	県立大飯田C 現地(県立大飯田C集合)	観光	実践	選択
		CPYK08	実用中国語	1	1～4	賀 南	後期	後期(集中)	10/8、10/9、10/28 10/29	日、月(祝)、土 日	13:10～16:20 10:30～16:20	4	県立大飯田C 現地(県立大飯田C集合)	観光	実践	選択
		CPYK09	ネイチャーガイド演習1	1	1～4	吉田 均	後期	後期(集中)	10/14 10/15 10/21	土 日 土	12:00～18:00 8:00～16:30 12:00～16:30	5	県立大飯田C 現地(県立大飯田C集合) 県立大飯田C	観光	実践	選択
		CPYK10	ネイチャーガイド演習2	1	1～4	吉田 均	後期	後期(集中)	11/11 11/12、11/23	土 日、木(祝)	10:30～16:30 8:00～16:30	5	県立大飯田C 現地(県立大飯田C集合)	観光	実践	選択
		CPYK11	日本ワイン歴史マイスター養成講座	1	1～4	仲田 道弘/安藤 勝洋	後期	後期(集中)	10/7、10/21、11/11、11/25、12/2、12/16、1/6、1/20	土	14:00～15:30	7	オンライン+オンデマンド	観光	実践	選択
		CPYK12	おもてなしマイスター養成講座	1	1～4	高野 登/安藤 勝洋	後期	後期	11/29～2/7の水曜日	水	16:30～18:00	10	オンライン+オンデマンド	観光	実践	選択
		CPYK13	観光実践マネジメント講座	1	1～4	瀬戸川 礼子/安藤 勝洋	後期	後期	10/4～11/22の水曜日	水	16:30～18:00	10	オンライン+オンデマンド	観光	実践	選択
		CPYK44	やまなしワイン入門講座	1	1～4	長谷部 賢/堀内 久雄/杉山 歩	前期	通年(集中)	6/17 6/25 10/7 10/21	土 日 土 土	13:10～16:20 13:10～16:20 8:30～15:00 13:10～14:40	5	県立大飯田C 農場(甲府市内) 酒折ワイナリー(甲府市内) ロゼママン(甲府市内)	観光	実践	選択
		CPYK14	ワークショップデザイン	2	1～4	田中 友悟	前期	前期(集中)	4/12 4/19、4/26、5/10、5/17、5/24、5/31 7/26	水 水 水	16:30～18:00 16:30～19:40 18:30～21:30(予定)	5	県立大飯田C 現地(山梨市内)	地域	技能	選択
		CPYK15	まちづくりの思想と技術	2	1～4	田中 友悟	後期	後期(集中)	11/29 12/6、12/13、12/20、1/10、1/17、1/24、2/7	水 水	16:30～18:00 16:30～19:40	7	県立大飯田C	地域/観光	技能	選択
		CPYK17	事業づくりの技法	1	2～4	佐野 信也	前期	前期	6/14～8/2の水曜日	水	16:30～18:00	5	県立大飯田C	地域/観光	実践	選択
		CPYK18	政策づくりの技法	1	2～4	保坂 久	前期	前期	6/14～8/2の水曜日	水	18:10～19:40	5	県立大飯田C	地域	実践	選択
		CPYK19	ローカルデザイン実践演習	1	1～4	田中 友悟	前期	前期(集中)	7/15 7/16 8/19	土 日 土	10:00～18:30(予定) 10:00～17:00(予定) 15:00～17:00(予定)	5	現地(山梨県内)	地域/観光	実践	選択
		CPYK20	事業づくり実践演習	1	2～4	澤 伸恭/佐藤 文昭	後期	後期	10/4、10/18、11/1、11/15 10/11、10/25、11/8、11/22	水 水	18:30～20:00 18:30～20:30	3	地域づくり交流センター(甲府市丸の内)	地域	実践	選択
		CPYK21	政策づくり実践演習	1	2～4	保坂 久	後期	後期	11/29～2/7の水曜日	水	18:10～19:40	3	県立大飯田C	地域	実践	選択

		時間割番号	科目名	単位	履修 年次	担当	履修 学期	実施 学期	実施日	曜日	時間帯	受入 定員	場所	プログラム 種類	科目 分類	選択/ 必修
全学 共通 教育 科目	その他	CPYK22	企業がチャレンジする経営革新	1	1～4	内田 研一/手塚 伸/ 八代 一浩	前期	前期 (集中)	6/13、6/20、6/27、7/4	火	16:30～19:40	9	県立大飯田C	経営	技能	必修
		CPYK45	付加価値を生む地域資源の保全とブランド化	1	1～4	中村 光良/安達 義通	後期	後期	10/4～11/22の水曜日	水	18:10～19:40	5	県立大飯田C	経営	技能	選択
		CPYK46	金融リテラシー向上講座～お金の過去・現在・未来～	1	1～4	堀内 久雄/手塚 伸/ 今井 久	後期	後期 (集中)	10/5、10/12、10/19、 10/26、11/2、11/9 11/25	木 土	18:10～19:40 13:10～16:20	15	県立大飯田C 現地（中銀資料館）	経営	技能	選択
		CPYK24	国際貿易実務	1	1～4	中矢 一虎/今井 久/ 手塚 伸	後期	後期	10/2、11/27 10/16、10/23、10/30、 11/6、11/13、11/20	月 月	18:10～19:40 18:10～19:40	10	県立大飯田C オンデマンド	経営	技能	選択
		CPYK25	事業計画づくりワークショップ	1	2～4	内田 研一/手塚 伸/ 今井 久	後期	後期 (集中)	12/9、12/10	土、日	9:00～16:20	5	県立大飯田C	経営	実践	選択
		CPYK26	トレンド予測の手法	1	1～4	家安 香/手塚 伸/今 井 久	後期	後期 (集中)	10/14、10/15	土、日	9:00～16:20	3	県立大飯田C	経営	実践	選択
		CPYK27	イノベーション創造の基礎と実践	1	2～4	田子 學/手塚 伸/今 井 久	後期	後期 (集中)	11/11、11/12	土、日	9:00～16:20	3	県立大飯田C	経営	実践	選択
		CPYK28	ブランディング基礎と実践	1	2～4	田子 學/手塚 伸/今 井 久	後期	後期 (集中)	10/28 10/29	土 日	9:00～16:20 8:15～17:00	3	県立大飯田C Mgvsワイナリー（甲州市内）	経営	実践	選択
		CPYK29	企業におけるレクチャーと現場研修	1	1～4	手塚 伸/今井 久	前期	前期 (集中)	8/24 8/25	木 金	8:15～16:00(予定) 8:15～17:30(予定)	4	各企業(県立大飯田C集合)	経営	実践	選択
		CPYK48	多文化共生地域課題2（多文化社会における対人援助／外国人と人権）	2	1～4	新居 みどり/長坂香織	前期	前期 (集中)	4/22 4/27、5/11、5/18、5/25、 6/1、6/8、6/15、6/22、 6/29、7/6、7/13 7/22	土 木 土	13:10～16:20 18:15～19:45 13:10～14:30	5	県立大池田C（県外者のみオンライン可） オンライン 県立大池田C（県外者のみオンライン可）	多文化	技能	必修
		CPYK31	多文化社会とことば	1	2～4	長坂 香織	後期	後期	10/5～11/30の木曜日	木	18:15～19:45	5	県立大飯田C（山梨大学の学生はオンライン可）	多文化	技能	選択
		CPYK32	保健医療福祉における文化理解	1	2～4	錦織 信幸	後期	後期 (集中)	10/7 10/14、10/21、10/28	土 土	13:10～16:20 13:10～16:20	3	県立大飯田C 県立大池田C	多文化	技能	選択
		CPYK47	多文化共生地域課題1（山梨県の多文化化）	1	1～4	長坂 香織	後期	後期 (集中)	12/1 12/8、12/15、12/22、1/5、 1/19、1/26	金 金	16:30～19:40 16:30～18:00	5	県立大飯田C（山梨大学の学生はオンライン可）	多文化	技能	選択
		CPYK35	芸術活動をとした多様性協働プロジェクト	2	1～4	山野 靖博/中原 和樹	前期	通年 (集中)	5/15、6/19、7/10、10/2、 11/13、12/11 12/16	月 土	16:30～19:40 13:10～18:00	5	県立大池田C 県立大飯田C	多文化	実践	選択
		CPYK36	多文化共生の現場を歩く	1	1～4	長坂 香織	前期	前期 (集中)	8/9 8月中のいずれか1日 8月中のいずれか1日 未定 9/30	水 未定 未定 未定 土	16:30～18:00 7:30～17:30 7:00～18:30 未定(1コマ) 13:10～14:40	6	オンライン 県内各施設 (県立大集合)	多文化	実践	選択
		CPYK49	多文化共生を目指した地域課題プロジェクト	1	1～4	錦織 信幸/長坂 香織/杉山 歩	後期	後期 (集中)	11/28、12/5、12/12、 12/19、1/16、1/23 未定	火 未定	18:15～19:45 未定(2コマ)	4	県立大飯田C 県立大飯田C（予定）	多文化	実践	選択
		CPYK37	多文化対応人材育成演習（教育）	1	2～4	ピッチフォード 理絵	前期	前期	4/18～6/6の火曜日	火	18:10～19:40	6	県立大飯田C（山梨大学の学生はオンライン可）	多文化	実践	選択
		CPYK38	多文化対応人材育成演習（保健・医療・福祉）	1	2～4	沢田 貴志	前期	前期 (集中)	6/14、6/21、6/28、7/5、 7/12、7/19 7/29	水 土	18:15～19:45 14:50～18:00	6	オンライン 県立大池田C（県外者のみオンライン可）	多文化	実践	選択
		CPYK39	アントレプレナーシップとスキル	2	1～4	戸田 達昭	後期	後期 (集中)	10/4、10/11、10/18、 10/25、11/1、11/8、11/15 11/22	水 水	16:30～19:40 16:30～18:00	6	県立大飯田C	アントレ	技能	選択
		CPYK40	グローバルビジネススキル	1	1～4	戸田 達昭	後期	後期	11/29～2/7の水曜日	水	16:30～18:00	6	県立大飯田C	アントレ	技能	選択
		CPYK41	アイデア共創実践	1	1～4	戸田 達昭/杉山 歩	前期	前期 (集中)	6/25、7/9	日	9:00～16:10	7	県立大飯田C	アントレ	実践	選択
		CPYK42	ビジネス共創実践	2	1～4	齊藤 浩志	前期	前期 (集中)	7/27 9/14～17（予定）	木 木金土日 連続4日間	18:10～19:40 未定(14コマ)	4	県立大飯田C 現地(甲府市内)	アントレ	実践	選択

令和 5 年度連携開設科目授業開講日

【前期】

月曜授業

	4/17	4/24	5/1	5/8	5/15	5/22	5/29	6/5	6/12	6/19	6/26	7/3	7/10	7/17	7/24	7/31	8/7
梨大	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	—	⑭	⑮	—
県大	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	〈補講〉	⑭	⑮	試験

①～⑮、試験：第 1～15回の授業及び試験は授業担当教員の指示に従い受講してください。

火曜授業

	4/18	4/25	5/2	5/9	5/16	5/23	5/30	6/6	6/13	6/20	6/27	7/4	7/11	7/18	7/25	8/1	8/8
梨大	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	水曜授業	—
県大	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	試験	〈追再試〉

①～⑮：第 1～15回の授業は授業担当教員の指示に従い受講してください。

試験：8/1(火)は水曜振替日のため、県大の試験と梨大の水曜授業が重なります。

8/1(火)は梨大の水曜授業に出席し、8/1(火)分の県大の試験の対応は授業担当教員の指示に従ってください。

水曜授業

	4/12	4/19	4/26	5/3	5/10	5/17	5/24	5/31	6/7	6/14	6/21	6/28	7/5	7/12	7/19	7/26	8/1火	8/2	8/9
梨大	健康診断	①	②	—	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	—	—
県大	①	②	③	—	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	-	試験	〈追再試〉

①：4/12(水)は県大の第1回の授業と梨大の健康診断が重なります。

4/12(水)にご自身の健康診断がある場合は受診し、4/12(水)分の県大の授業の対応は授業担当教員の指示に従ってください。

健康診断がない場合は、県大の授業を受講してください。

②～⑮、試験：第 2～15回の授業及び試験は授業担当教員の指示に従い受講してください。

木曜授業

	4/13	4/20	4/27	5/4	5/11	5/18	5/25	6/1	6/8	6/15	6/22	6/29	7/6	7/13	7/20	7/27	8/3
梨大	①	②	③	—	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	—
県大	①	②	③	—	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	試験

①～⑮、試験：第 1～15回の授業及び試験は授業担当教員の指示に従い受講してください。

金曜授業

	4/14	4/21	4/28	5/5	5/12	5/19	5/26	6/2	6/9	6/16	6/23	6/30	7/7	7/14	7/21	7/28	8/4
梨大	①	②	③	—	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	—
県大	①	②	③	—	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	試験

①～⑮、試験：第 1～15回の授業及び試験は授業担当教員の指示に従い受講してください。

※7/17(月)は県大の補講日のため、補講の可能性あります。

※8/8(火)、8/9(水)は県大の追試・再試日のため、追試・再試の可能性あります。

【後期】

月曜授業

	10/2	10/9	10/16	10/23	10/30	11/6	11/13	11/20	11/27	12/4	12/11	12/18	12/25	1/1	1/8	1/9火	1/15	1/22	1/29	2/5
梨大	①	—	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	—	—	—	⑫	⑬	⑭	⑮	—
県大	①	—	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	—	—	—	⑬	⑭	⑮	試験

①～⑮、試験：第1～15回の授業及び試験は授業担当教員の指示に従い受講してください。

火曜授業

	10/3	10/10	10/17	10/24	10/31	11/7	11/14	11/21	11/28	12/5	12/12	12/19	12/26	1/2	1/9	1/16	1/23	1/30	2/6
梨大	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	—	—	月曜授業	⑬	⑭	⑮	—
県大	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	(補講)	—	⑬	⑭	⑮	(補講)	試験

①～⑫、⑭～⑮、試験：第1～15回（第13回除く）の授業及び試験は授業担当教員の指示に従い、授業を受講してください。

⑬：1/9(火)は月曜振替日のため、県大の第13回の授業と梨大の月曜授業が重なります。

1/9(火)は梨大の月曜授業に出席し、1/9(火)分の県大の授業の対応は授業担当教員の指示に従ってください。

水曜授業

	10/4	10/11	10/18	10/25	11/1	11/8	11/15	11/22	11/29	12/6	12/13	12/20	12/27	1/3	1/10	1/17	1/24	1/31	2/7
梨大	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	—	—	金曜授業	⑬	⑭	⑮	—
県大	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	(補講)	—	⑬	⑭	⑮	(補講)	試験

①～⑫、⑭～⑮、試験：第1～15回（第13回除く）の授業及び試験は授業担当教員の指示に従い、授業を受講してください。

⑬：1/10(水)は金曜振替日のため、県大の第13回の授業と梨大の金曜授業が重なります。

1/10(水)は梨大の金曜授業に出席し、1/10(水)分の県大の授業の対応は授業担当教員の指示に従ってください。

木曜授業

	10/5	10/12	10/19	10/26	11/2	11/9	11/16	11/23	11/30	12/7	12/14	12/21	12/28	1/4	1/11	1/18	1/25	2/1	2/8
梨大	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	—	⑧	⑨	⑩	⑪	—	⑫	⑬	⑭	⑮	—	—
県大	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	—	⑧	⑨	⑩	⑪	—	⑫	⑬	⑭	⑮	試験	(追再試)

①～⑮、試験：第1～15回の授業及び試験は授業担当教員の指示に従い受講してください。

金曜授業

	10/6	10/13	10/20	10/27	11/3	11/10	11/17	11/24	12/1	12/8	12/15	12/22	12/29	1/5	1/10水	1/12	1/19	1/26	2/2	2/9
梨大	①	②	③	④	—	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	—	⑫	⑬	—	⑭	⑮	—	—
県大	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	—	⑬	—	—	⑭	⑮	試験	(追再試)

①～⑮、試験：第1～15回の授業及び試験は授業担当教員の指示に従い受講してください。

※12/26(火)、12/27(水)、1/30(火)、1/31(水)は県大の補講日のため、補講の可能性があります。

※2/8(木)、2/9(金)は県大の追試・再試日のため、追試・再試の可能性があります。

Q&A

Q1. 連携開設科目とは何ですか。

A. 連携開設科目とは、大学等連携推進法人制度により山梨大学、山梨県立大学において開設された科目であり、相手大学の科目を自大学の科目としてみなすことができます。

令和元年度、国立大学法人山梨大学と公立大学法人山梨県立大学は一般社団法人大学アライアンスやまなしを設立し、令和2年度に大学等連携推進法人の認定を受けました。これにより、令和3年度から相手大学の科目を自大学の科目としてみなすことができる「連携開設科目」を開設できるようになりました。

Q2. 連携開設科目の授業はどのように行われていますか。

A. 基本は遠隔授業ツール（Google Meet、Classroom 等）により、オンライン授業を実施しています。キャンパス間の移動を考えず受講が可能です。一部、対面での授業もありますので、P.3「令和5年度連携開設科目（主幹大学：山梨県立大学）一覧」及びシラバスを必ず確認してください。

なお、PENTAS YAMANASHI の科目（P.4～5「令和5年度連携開設科目（主幹大学：山梨県立大学）一覧（PENTAS YAMANASHI）」参照）については、基本的に山梨県立大学での面接授業ですので注意してください。授業形態等は、P.4～5「令和5年度連携開設科目（主幹大学：山梨県立大学）一覧（PENTAS YAMANASHI）」にて確認してください。

Q3. 連携開設科目の単位は、どのように扱われるのですか。単位互換制度とは違うのですか。

A. 連携開設科目は、自大学の科目として単位を取得できます。他の大学等で修得した単位をもって自大学の授業科目の履修とみなす単位互換制度とは異なります。

Q4. どのような科目が開設されていますか。

A. 山梨大学では、工学系などの理系科目を多く開設しています。山梨県立大学では、山梨大学において開講科目数が少ない文系科目を開設しています。

Q5. 履修希望者が定員を超えたらどうするのですか。

A. 履修希望者が定員を超えた場合は抽選処理により履修者を決定しています。定員については P.3「令和5年度連携開設科目（主幹大学：山梨県立大学）一覧」及び P.4～5「令和5年度連携開設科目（主幹大学：山梨県立大学）一覧（PENTAS YAMANASHI）」を必ず確認してください。

Q6. 成績評価はどのように行われるのですか。

A. 成績評価は試験だけではなく、さまざまな方法があります。詳細については各科目のシラバスを参照してください。

Q7. 他大学の先生が担当する科目を履修しても、成績評価などで不利益が生じることはないのですか。

A. 不利益はありません。所属大学の区別なく公正・公平に行われます。

令和5年度連携開設科目（主幹大学：山梨県立大学）

	時間割番号	科目名	大学	学期	授業の目的
1	CBCK01	VUCA時代のキャリアレジリエンス	県	前期 4/12~	現代は先の見えない時代(VUCA時代：Volatility（変動性）、Uncertainty（不確実性）、Complexity（複雑性）、Ambiguity（曖昧性））と呼ばれるようになりました。VUCA時代においては、自らのキャリアを形成していくに際して、様々な困難に直面していくことが予想されます。困難に直面した時に、しなやかに対応していく能力が求められます。本科目では、社会の変化にしなやかに対応していくためのマインドのあり方、手法について学ぶことを目的とします。
2	CBCK02	地域のチャレンジ1	県	後期 10/6~	山梨県内で地域づくりの側面から様々な活動にチャレンジしている方をお招きし、ゲストの方のビジョン・考え方・思い・コンセプトを拝聴する中から活動を成功に導いた原動力について学びます。講義に登壇するゲストは自治体やNPOでの活動を通して日本から世界へ山梨の魅力を発信している方々です。本科目を通して地域にありながらグローバルにチャレンジすることの意味について自ら考えて、地域資源の持つポテンシャルについて認識することを目的とします。
3	CBCK03	地域のチャレンジ2	県	後期 12/1~	地域のチャレンジ1に続き、山梨県内でビジネスの側面から様々な活動にチャレンジしている方をお招きし、ゲストの方のビジョン・考え方・思い・コンセプトを拝聴する中から活動を成功に導いた原動力について学びます。講義に登壇するゲストは山梨県の伝統産業、地場産業でありながら世界と勝負するプロダクトの開発に携わった方々です。本科目を通して地域にありながらグローバルにチャレンジすることの意味について自ら考えて、地域産業の持つポテンシャルについて認識することを目的とします。
4	CJAK01	アカデミックジャパニーズ（Writing）	県	前期	外国人留学生を対象に、アカデミック・ジャパニーズの習得を目的とする。大学で授業を受ける上での書く力、ノートを取る力を養成する。
5	CJAK02	アカデミックジャパニーズ（Reading）	県	前期	外国人留学生を対象に、アカデミック・ジャパニーズの習得を目的とする。読んだ情報、内容を口頭および書いて伝える力を育成する。
6	CHBK01	韓国語Ⅰa	県	前期	主に韓国語の「基礎」を学びながら、韓国の文化や歴史に触れ異文化理解を深める。韓国語の習得は勿論ですが、「世界の中核・世界の人材」という標語の下、地域の知の拠点として、専門性をもって世界で活躍できる人を育てることを目指す、山梨大学のディプロマポリシーを実現する科目です。韓国語を通じて世界の自分自身を振り返り、韓国語を話す者や地域の理解及び異文化の人の円滑は繋がりの実現・実感することで、世界に通用できるコミュニケーション能力を習得するのが目的です。
7	CHBK02	韓国語Ⅰb	県	後期	主に韓国語の「基礎」を学びながら既にⅠaで学んだ内容の続きとして、韓国の文化や歴史に触れ異文化理解を深める。韓国語の習得は勿論ですが、「世界の中核・世界の人材」という標語の下、地域の知の拠点として、専門性をもって世界で活躍できる人を育てることを目指す、山梨大学のディプロマポリシーを実現する科目です。韓国語を通じて世界の自分自身を振り返り、韓国語を話す者や地域の理解及び異文化の人の円滑は繋がりの実現・実感することで、世界に通用できるコミュニケーション能力を習得するのが目的です。
8	CACK02	人間と文化	県	前期	人間と文化について歴史的な観点から考えていきます。地域・時代は日本古代を出発点とし、関連して他の時代、さらに現代にも触れる予定です。日本人は、古くからどのような文化を形成し、また社会を形作ってきたのかを具体的な事例に触れながら考えていく予定です。
9	CACK03	人間と芸術—文学	県	前期	人間は古くから芸術を通して自己を表現してきた。本講義では作品の背景である文化や社会の変化に目を配りながら文学作品を読み解いていく。読書をととして時代を象徴する主題や価値観を我々は学ぶことができる。取り上げる作品はいずれも、「外国」を描いた作品である。作品の分析をととして、受講者は日本近現代文学において「外国」がどのように描写され受容されてきたのかを理解することができる。
10	CACK04	日本語の方言と山梨	県	後期	現代の日本語は、全国にあまねく通じる「共通語体系」と、各地の多様な「方言体系」の総体として成り立っている。この実態を、言語事実即して把握できるよう講義する。 日本の方言は、日本の地理的特性・歴史的経緯から、非常に多様な、興味深い言語様相を示す。この講義では、日本の方言の全体像を把握し、かつ、方言の各事項についての理論と調査分析方法を解説する。日本は、世界の中でも方言研究が非常にさかんであることも特筆すべきことであり、数多くの先行研究を知り、それらを講読する力を養えるよう指導する。 ラーズスケールで日本全国の方言を対象とするほか、スモールスケールでは山梨方言を詳細分析対象の中心とする。山梨方言を詳細分析の事例とし、それを他地域の方言研究にも適用できるようになることも目指し指導する。
11	CACK05	文化とコミュニケーション	県	後期	この科目は、異文化と他者について、教員と受講生が共に考えることを通じて、 1 受講生に多様の視点や視角から物事を考える習慣が身に付くこと 2 受講生が自身の常識や「当たり前」を省みる思考方法を修得することを目的としています。
12	CACK06	生と幸福	県	前期	「福祉」ということばは、「幸福」を意味する。とはいえ、幸福とはいったいなんだろう？ 福祉を漠然としたイメージではなく、概念としてきちんと理解するためには、幸福を理解することが必要なのかもしれない。 この授業では、この問いに哲学的な角度から迫っていく。幸福は、哲学におけるもっとも古いテーマのひとつである。哲学において幸福がどのように考察されてきたかを歴史的にも見ていくことで、この問いへのさまざまな答えかたを考えさせることが、この授業の目的である。

	時間割番号	科目名	大学	学期	授業の目的
13	CACK08 A CACK08 B	人間と思想	県	後期	思想は、生活に縁遠いものに見えるが、じつはそうではない。人間は生きているかぎり、ものを考え、思想を生み出す。それだけでなく、じつは知らず知らずのうちに思想によって生きている。この講義では、私たちに身近な主題を取りあげ、いかにそれが思想と密接であるかということを学ぶ機会を提供したい。
14	CACK09	人間と心	県	前期	本授業では、様々な心理学の分野から基礎的内容を取り上げ、いくつかの実証的研究の知見を紹介する。それらを通し、人の心の働きを多様な視点から科学的に解明しようとする考え方を解説し、日常のさまざまな事象を心理学的に捉える土台をつくる。
15	CACK10	日本の歴史	県	前期	この授業では、「日本の歴史」を考えるために、山梨県（甲斐国）を中心に、いくつかの地域の歴史に関する研究論文を読んでいく。例えば山梨県の時代や社会の移り変わりから、日本の歴史や世界の歴史を考えるのにはどうしたらよいのだろうか。 遠隔授業を前提に、論文講読形式で授業を進める。江戸時代を中心に、山梨県・甲斐国が歩んだ歴史やその時々状況を理解するため、4～5本の研究論文をできるだけ丁寧に読んでいく。
16	CACK11	欧米の歴史Ⅰ	県	前期	20世紀は輝かしい発展と繁栄を見せたアメリカの世紀だったといわれる。第2次世界大戦後、地域大国アメリカは国際社会で中心的役割を果たしてきた。本年は、とくに20世紀後半以降の歴代アメリカ大統領にスポットを当て、各大統領が国際社会で起こったさまざまな出来事にどのように関与したか、影響力を行使したかを平易に解説することにより、アメリカ外交の本質を理解する。大統領の外交権限は極めて強い。 授業の導入として、2021年1月にスタートしたバイデン政権の展開、22年11月に行われた中間選挙結果、24年11月に実施される大統領選の動向をリアルタイムで解説する。
17	CACK12	倫理学	県	前期	本講義の目的は、倫理学という学問の基本的な考え方を学び、それを通じて現実の倫理的問題を具体的に考える力を養う機会を提供することにある。
18	CASK01	社会と政治	県	後期	この授業は、社会制度としての「政治」の意義と役割について考える科目である。社会制度として政治が生まれ、どのように変化してきたのかを歴史の中から学ぶとともに、現在の社会における様々な政治課題について理解を広げることが目的である。例えば、なぜ政治的無関心が生まれるのか、政務活動費の何が問題なのか等々、講義では新聞などのマスメディアが報道する多様多岐の政治課題やその解決に向けた政治的な活動の中から事例を取り上げ、その利害関係を分析・理解する能力を伸ばす。
19	CASK02	社会と法	県	前期	この授業は、全ての学部学生を対象に、法的なものの考え方「リーガル・マインド」を身につけることを目的とします。多様な職種に就く本学の学生は、社会の様々な課題の背後にある法律問題を理解する必要があります。法制度や法律の基礎を学ぶためには、難しい法律用語からだけでなく、分かり易い具体例や身近な問題を題材にして講義を行います。
20	CASK03	環境論	県	後期	人間と生活環境・自然環境の関係についての基礎的理解力をつけることを目的とする。そのために、具体的な環境問題について多角的に学び、環境問題の構造を立体的に把握する力を養う。
21	CASK06	災害支援	県	前期	災害の定義と分類、災害のサイクルから災害の基本について教授する。 また、災害サイクルと各期に応じた援助（ボランティア活動を含む）の実例、トリアージの基礎的な知識を体系的、総合的に教授する。
22	CASK07	国際協力	県	前期	国際協力に関する基本概念を学び、地球市民という視点から、貧困問題・環境破壊・人権問題・格差問題など地球規模の課題について理解を深めます。また、幅広い国際協力活動の展開に必要な、具体的方法論を習得します。
23	CASK08	生活環境論	県	前期	身近な環境と私たちの生活・社会との関わりについて基礎的な知識を得ることにより、地域政策・環境政策を考えるための基盤をつくることを目的とする。
24	CASK10	簿記論	県	前期	商業に必須の手段たる簿記（bookkeeping）は、万国共通の経済原語というべき存在です。将来米国で暮らそうとするならば英語の習得が必須であるのと同様に、将来ビジネスシーンで活躍しようとするならば簿記の習得は必須です。起業を目指す場合でも、簿記の知識がなければ確定申告（税金の計算・納付）すらできません。また、現代の官公庁においては公会計が導入されており、その知識のベースも簿記にあります。 「企業が求める資格ランキング」（「リクルートキャリア」調べ）や「転職で役立った資格ランキング」（「All About NEWS」調べ）でも、ランキング第1位は簿記検定とされています。また、本学事務職員（総務など）も多くの方が簿記検定資格を有しています。なお、米国のビジネススクール（経営学大学院：MBA取得のための教育機関）では、簿記が必修科目として指定されています。 本科目は、後期に配当されている「簿記演習」と連動したカリキュラムとなっており、これらの履修を通じ本科目では、初級簿記の全体を学び、11月に実施される日本商工会議所（日商）簿記検定試験3級合格を目指します。したがって、前期配当の本科目「簿記論」と後期配当の「簿記演習」は、連続履修が望まれます。 なお、経済学などと異なり、簿記の学習では「数字」は使いますが「数学」は使いません。中学校レベルの数的処理能力があれば学習に支障ありませんので、数学が苦手な方も心配は不要です。
25	CASK11	簿記演習	県	後期	本科目は前期に配当されている「簿記論」と連動したカリキュラムとなっており、これらの履修を通じ、11月に実施される日本商工会議所（日商）簿記検定試験3級合格を目指します。したがって、前期配当の本科目「簿記論」と後期配当の「簿記演習」は、連続履修が望まれます。

	時間割番号	科目名	大学	学期	授業の目的
26	CASK13	メディア・リテラシー	県	前期	本授業の目的は、メディアについて、今、私たちは何を学ぶべきか、教員と受講生が共に考えることです。また、メディアを通して、社会や人間の営みについて読み解く視座を獲得することも目的としています。
27	CANK01	宇宙の科学	県	前期	星は地球上の生命（いのち）すべてが時空を超えて共有できる唯一の風景です。人類が誕生したその時代から、人々は、星空から時間の概念や、数学の概念、そして想像力さえも獲得してきました。そして、私たちはどこからきてどこに向かうのか・・・ということを知るために、科学を積み上げてきました。現代の科学が教えてくれる宇宙観は、どんな人にも「よりどころ」になります。その宇宙観を伝え、宇宙と私たちがつながっていることを伝えます。また、天文学の何がわかっていて、何がわからないのか、という視点も伝えます。
28	CANK02	生物の科学	県	後期	生物科学とはどのような学問なのか、分子・細胞から個体、個体群、生態系まで幅広いレベルにわたってその基礎的事項について解説する。また後半では、富士山を始め特徴的な生物多様性を有する山梨県の特徴や、温暖化、外来種といった地球環境問題の生物多様性・生態系への影響を概観し、生物科学からみた山梨や地球（環境）の将来を考える講義としたい。
29	CAHK01 A CAHK01 B	運動と人間－講義	県	後期	体育学の諸分野のうち、運動生理学、発育・発達等の分野を教授する。体力や健康の維持増進には身体運動が不可欠であるが、生活習慣や加齢の変化に伴い、様々な身体運動の意義がある。これらの学習を通して、運動という刺激が身体へ及ぼす作用に関心を持ち、科学的根拠に基づき何を実践すべきかを考えられるようにする。
30	CAHK03	発達と教育の心理	県	後期	本授業では、幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程について基礎的な知識を身につけ、各発達段階にある子どもの特性を踏まえ、発達支援及び、教育を実践するための土台となる力を培う。

令和5年度連携開設科目（主幹大学：山梨県立大学）PENTAS YAMANASHI科目

	時間割番号	科目名	大学	学期	授業の目的
1	CBCK01	VUCA時代のキャリアレジリエンス	県	前期 4/12~	現代は先の見えない時代(VUCA時代: Volatility (変動性)、Uncertainty (不確実性)、Complexity (複雑性)、Ambiguity (曖昧性)) と呼ばれるようになりました。VUCA時代においては、自らのキャリアを形成していくに際して、様々な困難に直面していくことが予想されます。困難に直面した時に、しなやかに対応していく能力が求められます。本科目では、社会の変化にしなやかに対応していくためのマインドのあり方、手法について学ぶことを目的とします。
2	CBCK02	地域のチャレンジ1	県	後期 10/6~	山梨県内で地域づくりの側面から様々な活動にチャレンジしている方をお招きし、ゲストの方のビジョン・考え方・思い・コンセプトを拝聴する中から活動を成功に導いた原動力について学びます。講義に登壇するゲストは自治体やNPOでの活動を通して日本から世界へ山梨の魅力を発信している方々です。本科目を通して地域にありながらグローバルにチャレンジすることの意味について自ら考えて、地域資源の持つポテンシャルについて認識することを目的とします。
3	CBCK03	地域のチャレンジ2	県	後期 12/1~	地域のチャレンジ1に続き、山梨県内でビジネスの側面から様々な活動にチャレンジしている方をお招きし、ゲストの方のビジョン・考え方・思い・コンセプトを拝聴する中から活動を成功に導いた原動力について学びます。講義に登壇するゲストは山梨県の伝統産業、地場産業でありながら世界と勝負するプロダクトの開発に携わった方々です。本科目を通して地域にありながらグローバルにチャレンジすることの意味について自ら考えて、地域産業の持つポテンシャルについて認識することを目的とします。
4	CPYK01	グローバルマインドとスキル	県	後期 12/9~	この講座では世界の教養を英語で学びグローバルマインドを身につけ、自己分析・自己探究を通して自らの学びを発信するスキルを育成します。英語「を」学ぶのではなく英語「で」自分のことと世界のことを探究することで、新しい視野や価値観を手に入れ、最終発表では探究したい教養テーマを自分の人生ストーリーと融合させ、5分間の英語プレゼンテーションで表現します。各授業では大学入門レベルの学問テーマをベースに議論・協働を通して深く学び、興味開発や自己探究に繋がります。全5回を通してグローバルマインドとスキルを身につけ、山梨と世界の架け橋として活躍するための素地を育成することを目的としています。
5	CPYK02	地域しごと概論（経営マインド）	県	前期 4/13~	山梨県には多種多様な「ものづくり企業」が展開している。その多くが、ハイテクノロジー・ハイススキル、オプティマル（「地域・市場特性に応じた」最適な）テクノロジー・オプティマルスキルを強みとして、国内だけではなく海外においても存在感を発揮している。こうしたものづくり現場の経営者や支援者8名が登壇し、仕事の理念、これまでの好機・危機、未来への戦略、VUCA時代を生き抜くための考え方などを語ります。 経営者の皆様方の現場からの生の声や受講者への期待を通して、山梨県産業の多様さ・奥深さを理解するとともに、現実の仕事を実感することにより、今後のキャリアを構想するに当たったの基本的な知識や精神的な糧を得ることを目的とする。
6	CPYK43	地域の豊かさ	県	前期 4/14~	日本の一地方である「山梨県」の特徴ある地域資源に注目し、それらと豊かさを関連付け、山梨県の豊かさがどのようなものなのかを考えていく。 具体的には、「エコロジカル・フットプリント」「健康寿命」「ものづくり」「農業」「ワイン」「水」の6つに注目し、山梨県におけるそれらの位置付けと、それぞれがどのように地域の豊かさに関連しているのかを考えていく。
7	CPYK04	問題発見の技法	県	前期 4/12~	今日、私たちが直面している地域社会の問題は、複雑化・複合化し、目に見えている出来事も、実は様々な要素が複雑に絡み合っている。本科目では、こうした出来事が「なぜ」、「どのように」に起こっているのかを、データやディスカッションを通じて一つ一つ解き明かしていくことにより、根本にある問題点はなにかを見つけるための技法を指導する。それにより、今後、様々な分野における学修の基盤となる「問いを立てる力」を身に付けることを目的とする。
8	CPYK05	地域資源の保全と活用	県	前期 4/12~	山梨県には、豊かな観光資源（文化と自然）があります。持続的な観光開発には自然環境、文化資源を保全しながら開発を進めていく必要があります。 本科目では自然や文化の保全と観光をどのようにバランスさせていくかについて理解してもらうことを目的とし、多彩なゲスト講師をお招きし、実際に行っている活動についてお話を伺いながら、自らどのように行動していくか考えてもらいます。
9	CPYK06	料理とワインのマリアージュ	県	後期 10/4~	ワインと料理には密接な関係があり、適切なワインと料理を選択することで相乗効果生まれ、相互を引き立たせることができます。本講座では、基本的な組み合わせのルールについて理解してもらうとともに、山梨県産のワインと食材を活用して実際に料理とワインの組み合わせ方について体験的に学ぶことを目的とします。
10	CPYK07	通訳入門実践	県	後期 10/14~	山梨県の代表的な観光資源について、その特色や魅力そして感動を十分に伝える通訳案内ができること、これが当科目の目的です。 今年度は、「日本ワイン」、「信玄公祭り」という山梨県が誇る2つの大きな観光資源を取り上げ、それぞれ「日本ワインの味わい表現」、「信玄公祭りの外国人ご案内手法」というテーマに落とし込んで、全員参加型の楽しい授業を進めて参ります。

	時間割番号	科目名	大学	学期	授業の目的
11	CPYK08	実用中国語	県	後期 10/8~	山梨県は、富士山や武田信玄などに代表される、自然環境や歴史文化財の魅力で、多くの外国人観光客を引き付けてきました。特にその言語別内訳をみると、中国語圏からの訪日客が半数以上を占め、圧倒的多数を占めています。 本科目では、中国語圏の観光客に焦点を当てた、実践的なガイド研修を行います。観光案内に必要な基本的なやり取りを中心に、本県をガイドする際に使用頻度が高い単語、基本文型、そして会話時のポイント等を学んでいきます。特に実践性を重視し、県内の河口湖エリアのスポットを想定し、通訳案内が可能となることを目標とします。
12	CPYK09	ネイチャーガイド演習1	県	後期 10/14~	山梨県には、世界文化遺産やユネスコエコパークなど、自然の美しさはもちろん、多様な歴史や文化を色濃く残す山岳地域が広がっています。本科目は、ネイチャーガイドをキーワードに、山岳信仰などの地域の歴史や文化なども紹介しながら、季節に合った多様な視点で、その現代的な意義や概要を学びます。また実際に県内で実施されているネイチャーツアーに参加し、体験的な学習を行います。
13	CPYK10	ネイチャーガイド演習2	県	後期 11/11~	山梨県には、世界文化遺産やユネスコエコパークなど、自然の美しさはもちろん、多様な歴史や文化を色濃く残す山岳地域が広がっています。本科目は、ネイチャーガイドをキーワードに、自然環境や歴史文化財を、多様な視点でのツアーを通じて学びます。 特に「甲武信ユネスコエコパーク」内でのネイチャーツアーの企画立案と運営の補佐ができる実践的学習を目標とします。当日は、日本遺産：御嶽昇仙アシスタントガイド研修に参加することで、その企画や実施方法を体験的に学びます。
14	CPYK11	日本ワイン歴史マイスター養成講座	県	後期 10/7~	山梨県の地域資源として産業・観光分野で注目を集める「日本ワイン」をテーマに、明治期日本ワインに携わった人物にフォーカスを当てた学びです。日本のワインの歴史について学び、キャリアに活かしたい方を対象とします。ワインに関する新たな視点・知識を獲得し、自身の仕事・キャリアをより創造的なスタイルにスケールアップすることを目的とします。
15	CPYK12	おもてなしマイスター養成講座	県	後期 11/29~	「おもてなし」は一方的に提供する「サービス」のことでありません。同じ目線に立ち、相手の気持ちになって行う誠意ある対応のことです。そうして、温かな人間性が触れ合った瞬間に「感動」が生まれるのです。つまり「おもてなし」とは、相手に自分の心を寄り添えて対話をする姿勢そのもののなのです。心は相手に見えなくても、心遣いや心がけ、心構えはちゃんと伝わります。 「おもてなし（ホスピタリティ）」は、観光に携わる人たちだけのものと思われがちですが、そうではありません。「おもてなし」の語源は、聖徳太子の「和を以て尊しと為す」までさかのぼると言われます。すなわち、「何を以て何を為す」のかを常に心に思い描くということです。 本講座では、サービス・ホスピタリティの意味を理解し、さらにブランディングや付加価値創造について事例を中心に学びます。また、付加価値創造を生み出すための人材育成や組織経営のあり方についても学びます。
16	CPYK13	観光実践マネジメント講座	県	後期 10/4~	本講義は、経営ジャーナリスト・中小企業診断士である講師が約30年にわたる取材の中で培った知見を、現役の女将（おかみ）さんおよびクレーム対応のプロとともに紹介していく講座です。 観光サービス業をはじめ、あらゆる事業に欠かせない高付加価値化。この土台となる考え方と具体的な実践マネジメント方法を、良い会社の実例とともに学びます。 全国の旅館、ホテル、飲食業、またものづくり企業など、多様な業界に高付加価値化のヒントがあります。 現地の写真や図表を用いながら、感性と論理の両面から実践的なマネジメントを学びます。 また、現場のプロをゲスト講師に迎え、リアルな思いと行動を直接聞く機会も設けます。
17	CPYK44	やまなしワイン入門講座	県	通年 6/17~	日本の産業ワイン発祥の地であり、日本を代表するワイン産地である山梨県ですが、どんな所が評価されているのかすぐに答えられる人は少ないと思います。本講義では山梨ワインの魅力について座学と現地での体験・視察を通して、産業・観光の両面から学び、山梨の地域資源ワインについて初歩的な内容について理解する事を目的とします。
18	CPYK14	ワークショップデザイン	県	前期 4/12~	ワークショップとは、「普段とは異なる視点をもって、創りながら学ぶ活動」のことを指します。近年では住民参加のまちづくりや、企業の新商品開発、組織のチームビルディングなど、様々な現場でその手法が採用されています。その実践にはすでに100年もの歴史があり、近代的なトップダウンに対するカウンターカルチャーとして発展を遂げてきた歴史があります。 複雑化する社会に向き合うためには、立場や主義主張を超えたコミュニケーションによる課題解決や新しい問題設定の力が必要となります。本科目は社会課題解決のためのコミュニケーション能力の習得を目的として、参加・共創型社会に求められるワークショップデザインの技術・姿勢を実践的に学び、効果的な対話の場をつくる能力を身につけます。
19	CPYK15	まちづくりの思想と技術	県	後期 11/29~	地域課題の解決には、問題を捉えて構造化する分析力、資源をつなぎあわせて価値をうみだす編集力、活動を事業へと育てていく企画力など、複合的な能力が求められます。「まちづくり」とは、そのような課題解決のための実践知に加え、私たちみんなが共有する暮らしの土台ともいえる「公共」を育てていく営為です。それは、私とまちの幸福な関係を築くための思想であり、技術だといえます。 本科目では、世間一般には抽象的とされる「まちづくり」という概念を捉えなおし、私たちの身近な行為である「作る」と「使う」の視点から私とまち（地域）を結びまちづくりの技術・姿勢を学びます。

	時間割番号	科目名	大学	学期	授業の目的
20	CPYK17	事業づくりの技法	県	前期 6/14~	地域づくりのための新たな事業を生み出すためには、それを生み出す人の願いや想いを中心であることが大切である。本科目では、学生ひとり一人の願いや想いから自分軸を見つけ、そこから社会とのつながりの中で他者を巻き込みながら新たな事業を起こしていくためのマインドとスキルの基礎を身に付け、それを現実化することを目的とする。 そのために、個人ワークやグループワークを通じて、新たな事業を生み出していくためのプロセスについて指導を行う。
21	CPYK18	政策づくりの技法	県	前期 6/14~	主に、自治体への就職を考えている学生や若手自治体職員を対象に、自治体政策担当者の視点から、ワークショップ形式により企画政策を立案するのに必要となる基礎的な知識や考え方を指導する。
22	CPYK19	ローカルデザイン実践演習	県	前期 7/15~	地域課題の解決には、問題を捉えて構造化する分析力、資源をつなぎあわせて価値をうみだす編集力、活動を事業へと育てていく企画力など、複合的な能力が求められます。「まちづくり」とは、そのような課題解決のための実践知に加え、私たちみんなが共有する暮らしの土台ともいえる「公共」を育てていく営為です。それは、私とまちの幸福な関係を築くための思想であり、技術だといえます。本科目では、「まちづくり」「デザイン」の思考法をもとに実際の地域課題の現場に入って企画提案を試みることで、VUCA時代に必要とされる実践的な思考法やプロジェクト立案力を身につけることを目指します。
23	CPYK20	事業づくり実践演習	県	後期 10/4~	様々な地域課題を解決するためには、新たな事業を企画しそれを実践していくためのスキルとマインドが求められる。本科目は、受講者の地域課題や興味関心をテーマとし、新たな事業を企画立案・試行することを通じて、事業を生み出すためのプロセス及び手法を実践的に指導する。
24	CPYK21	政策づくり実践演習	県	後期 11/29~	モデル自治体について、統計データ他の情報を収集分析して課題を抽出し、現場のヒアリングなどの調査を行い、取り組み可能な問題点を探す。その問題点をどう改善するか、アイデアを出しあい、具体的な企画案を通じて、政策づくりのプロセスを学ぶとともに、相手に伝わるプレゼンテーションを考える。
25	CPYK22	企業がチャレンジする経営革新	県	前期 6/13~	経営環境の不確実性等に対処するため、企業は常に経営革新を行っていく必要があります。本授業では、県内企業を中心としたケーススタディ（事例研究）を通して、企業の経営革新の意義とその手法について学んでいきます。特に、研究開発、ブランディング、マーケティング等、事業成功のキーとなる事項に着目し、講師と受講者とのディスカッションを通して理解を深めていきます。
26	CPYK45	付加価値を生む地域資源の保全とブランド化	県	後期 10/4~	山梨の地域資源である「水」をテーマに、水循環や保全の実例を通じた理解とその資源を価値創造に繋げる取組を学び、自らが地域資源の価値創造を考えることでSDGs時代の地域創生人材の育成を目指す。
27	CPYK46	金融リテラシー向上講座 ～お金の過去・現在・未来～	県	後期 10/5~	現代社会において、貨幣の存在は欠かせない。私たちがショッピングに行く時、旅に出る時、コンサートを見に行く時、事業を起こす時・展開する時、どんな時でも必ず貨幣が必要になる。 それほど不思議な力を持つ貨幣とは一体何なのか。昔の貨幣はともかく「金＝Gold」に紐づけられており、指輪にも鎖にも金歯にも使える美しい金属でもあった。今は鼻紙にも使えない紙きれにすぎない。それどころか、時には銀行の通帳上の数字の増減、また昨今は、電子マネーや仮想通貨といった電子データに過ぎない。このような無価値なものが、大きな力を持って、世界経済や地域経済を動かし、社会を支え、時には貨幣を巡る惨事も引き起こす。 この授業では、貨幣を巡る様々な考察を通じて、その本質に迫るとともに、現代社会において様々な金融機関が貨幣を用いてどのような活動を行ってきたのか、それぞれの歴史、現状、将来展望を学ぶ。また、こうした学びの中から、私たちの貨幣との向き合い方を深く洞察し、金融リテラシーを向上させるとともに、地域経済の活性化に生かすことのできる人材を育成することを目的とする。 なお、本科目は、(株)山梨中央銀行の寄付により運営するもので、同行の全面的な協力と、人材のご提供を得て進めていく。
28	CPYK24	国際貿易実務	県	後期 10/2~	貿易実務の基本体系知識について、演習を通して、海外営業の基本を習得する。まず授業の第1回は対面方式で、講師自身の貿易経験や貿易アドバイザーとしての相談から実際の貿易業務の現場を知ることから始める。次に第2回から第4回までは、オンラインのオンデマンド方式で輸出と輸入の重要なルールや貿易関係情報の読み方、さらにコストの計算まで、貿易取引に必須の知識を網羅する。そして後半の第5回から第7回までも同じくオンラインのオンデマンド方式にて、海外営業の具体的取り組みとして、海外取引先に対する対応や輸出代金回収リスク・外国為替相場変動リスクの回避方法を学ぶ。そして、輸出用サンプル出荷から正式受注までの実務についても事例を通して習得する。授業の最終回となる第8回は、対面方式で継続的・安定的な海外販路の方策や三国間貿易を学ぶとともに、今後の貿易実務や将来に向けた海外取引について質疑応答する。
29	CPYK25	事業計画づくりワークショップ	県	後期 12/9~	VUCA時代のキャリア形成において、組織において新規事業を立ち上げる際あるいは起業時に、様々な要素を勘案した有効かつ創造的な事業計画を構想できる能力は極めて重要である。 この授業では、事業計画策定の際に求められる、事業理念の構築、マーケットリサーチ、商品設計、資本政策、ブランディングなど、一連の事業計画策定の基礎的な手法を演習形式で学ぶ。
30	CPYK26	トレンド予測の手法	県	後期 10/14~	マーケティングの入口で必要となる未来予測は、極めて重要なステップですが、VUCAの時代にあって、これを的確に捉えることは極めて難しいものの、重要かつ必須の課題となっている。 この演習を通じて、不確実な時代にあっても、如何にして中長期的なトレンドを如何に予測していくか、これをもとにどのような未来戦略を描いていくかに関し、有効な知識とスキルを習得することを目的とする。

	時間割番号	科目名	大学	学期	授業の目的
31	CPYK27	イノベーション創造の基礎と実践	県	後期 11/11~	企業経営の現場において、『斬新な』アイデアはそう簡単に浮かんでこない。しかし、手持ちの情報であっても、掛け合わせのコツや発想のプロセスを実践することで、面白いアイデアやビジネスに変貌（イノベート）させることが可能となる。 本演習を通じ、こうした新しいアイデアを発想する過程、そしてそれをイノベートするスキルを具体例やワークを交えながら学び、イノベーションを創造できる思考体系を身につける。
32	CPYK28	ブランディング基礎と実践	県	後期 10/28~	企業の経営においては、自社の価値を高め、顧客との関係を強化する「ブランド」の重要性はますます高まっている。一方、重要性は理解していても、何から取り組めばよいのか分からない、というケースは少なくない。 この演習を通して、企業経営に必要なブランディングの基礎知識と実践する際の思考方法や具体的手法を学び、特に中小企業に不足しがちな精度の高い事業開発、実行力の高いブランドチームの育成、デザイン・広報など、ブランド構築の手法について、講座・ワークショップで体験し学び、受講者が高いブランディング能力を習得することを目指す。
33	CPYK29	企業におけるレクチャーと現場研修	県	前期 8/24~	山梨県内には、多様なものづくり企業が身近な経済社会のみならず、グローバルな経済社会の循環に必要な製品・サービスを提供している。こうした業の現場に赴き、経営者等から、企業活動の理念や概要を伺うと同時に、生産の現場を視察し、ものづくりの仕組み、戦略を体感する。
34	CPYK48	多文化共生地域課題2 (多文化社会における対人援助／外国人と人権)	県	前期 4/22~	多文化化する地域における外国人住民の現状を知り、その諸課題について理解する。そして、世界につながる地域社会の一員として、多文化共生社会の実現にむけた方途について考察し実践する力を身につける。
35	CPYK31	多文化社会とことば	県	後期 10/5~	「多文化共生」ということばが使われるようになって、少なくとも25年以上が経過している。共生にあたり3つの壁「ことば、文化、制度」があると言われているが、この四半世紀、これらの壁は低くなったのだろうか。「共生」への眼差しは、日本社会でどれほど育まれたのだろうか。 本講義では、多文化共生社会／異文化コミュニケーションにおける複雑に絡み合った「3つの壁」の内、「ことばの壁」に焦点をあて、乳幼児期からの言葉の発達と母語・継承語教育を含めた、多文化共生社会における言語支援について理解し、多文化共生に向けて、その知識を仕事や人生などにどのように活かすか、自分には何ができるのか考えることを目的とする。
36	CPYK32	保健医療福祉における文化理解	県	後期 10/7~	現代医学において「疾患」は科学的に定義されるものですが、人々が経験する「病い」は人それぞれ千差万別です。 例えば、医学的には同じ「アトピー性皮膚炎」や「糖尿病」などと診断されたとしても、クライアント一人ひとりの「病いの経験」は、それぞれ全く違うものです。「病いの経験」には、その「病い」の原因に対する考え方、生活に及ぼす影響、人生における意味、社会的な損失や利益、等々広範囲な経験を含みます。 長年にわたって医療の中心的課題は「疾患」への対処であり、医療的課題は疾病還元主義とエビデンス・ベースド・メディスンによって推し進められてきました。しかし一方で、クライアント一人ひとりの病いの経験を受容的に理解し、その固有の物語に寄り添いながら、クライアントと治療者がともに解決策を探索していくようなナラティブ・アプローチという方法も提唱されています。後者の立場では、クライアント一人ひとりをもつ独自の社会文化的背景の中で「病いの経験」が培われていることから、それらを包括的に理解することの重要性が強調されています。 本科目は「保健医療福祉における文化理解」と題されていますが、これは「日本文化」と「異国の文化」のようなマクロレベルでの文化対比を意味しているものではありません。むしろ病いを経験するすべての個人がそれぞれ固有の社会文化的背景を抱えており、私達が他者を理解する際の前提条件として、相手がよって立つところの「文化」を理解することから始めなければいけない、というより広い意味での文化理解を取り扱います。 他者の文化を探索し理解することから病いの経験をとらえる医療人類学的なアプローチについて学び、その延長線上に、多文化共生社会における文化理解への道筋を見出していくことを目的としています。
37	CPYK47	多文化共生地域課題1 (山梨県の多文化化)	県	後期 12/1~	山梨県には18,000人を超える外国人の方が住んでおり、母国と異なる文化やルールの中で様々な不安や悩みを抱えながら、山梨県民として生活している。こうした中、多文化共生の各分野で活躍されているゲスト講師から実際の現場での取り組み内容等を学ぶ。 本講義を通して、全ての外国人を孤立させることなく、社会を構成する一員として受け入れていくという視点に立ち、多文化共生社会の実現に向けた課題やその解決策等を考察し理解することを目的とする。
38	CPYK35	芸術活動をとoshた多様性協働プロジェクト	県	通年 5/15~	自立した個人として他の個人と向き合い、対話し、それぞれの立場と役割を受け入れ合うことで、独りでは到達し得ない演劇創作を体験することを目指す。 その為に、自己の内省と他者への開示、他者の受け入れを軸として、表面上ではない深い対話を進めていく。社会的レイヤーから切り離された、人間同士としての交流と繋がりを構築することが必要となり、自分も生き、相手も生きるという道を探求し、自身の観点を広げ、鋭く成長させる。
39	CPYK36	多文化共生の現場を歩く	県	前期 8/9~	多文化共生に関わる現場に足を運び、実際に見て、その現場の方の話を聴くことを通して、多文化共生の現状と課題を肌で感じ、理解する。また、それらの課題解決に向けた現場の対処について学び、多文化共生を自分事として考える姿勢を身につける。

	時間割番号	科目名	大学	学期	授業の目的
40	CPYK49	多文化共生を目指した地域課題プロジェクト	県	後期 11/28~	この授業の目的は、地域の多文化共生の現状と課題を理解し、多文化共生を進展させてきた全国の好事例を学び、多文化共生に資する対話型プロジェクトの企画・運営(実施)の方法について理解し、実際に体験することにあります。 具体的なテーマとして、外国の方の住まいにかかわる課題について取り組みます。住居は人が生活する上で欠かせない基本的ニーズであり、安心・安全な生活を営む上での基盤となるものです。しかしながら外国籍の方々や外国にルーツを持つ方々にとって、日本での住宅確保は容易ではなく、差別的な処遇も横行しているという現状があります。本科目では、住居の賃貸・管理にかかわる関係者、住居に課題を抱える当事者の方々などからその状況を学び、課題解決のための具体的なアクション（対話型イベント）を計画・実施します。
41	CPYK37	多文化対応人材育成演習（教育）	県	前期 4/18~	全国の公立小学校～高等学校に在籍する外国人児童生徒の数は2021年調査では114,853人、このうち日本語指導が必要な児童生徒数は47,619人です。また日本語指導が必要な海外にルーツを持つ日本国籍者も一万人を超えています。彼らのような「海外にルーツを持つ子どもたち」の多くは一時的に日本に滞在しているのではなく、今後も日本に住み続け将来日本社会の一翼を担うことになります。彼らのおかれた環境、背景を理解し、国、自治体、地域、学校の取り組みを知り、彼らの成長を支えるために組織として、また個人として何ができるか考える力を養います。
42	CPYK38	多文化対応人材育成演習（保健・医療・福祉）	県	前期 6/14~	国境を越えた人の移動が活発化するグローバル化の進行の中、保健・医療・福祉の各分野においても外国人住民の、人として、また生活者としての権利の保障がますます重要となっている。日本での現状と課題を理解し、課題解決にむけた具体的な対応・取組みを考え、専門職としての実践ができるようになる。
43	CPYK39	アントレプレナーシップとスキル	県	後期 10/4~	地方創生の実現や持続可能な社会を構築するためには、そこに住まう一人一人が担い手となる必要があり、課題を明確化し、アクションを起こしていく中で課題を解決していくことが必要です。そのアクションの一つに、事業による課題解決のアプローチがあります。 事業を起していく人を起業家と言いますが、起業家にはマインドセット、スキルセットの両方が必要です。本科目では、国内における起業家教育で極めて高い評価を得ている山形大学と連携し、各地で活躍されている方々の取り組みをビデオコンテンツで学び、優れた起業家のマインドセット、スキルセットに触れていただくとともに、履修生徒内でチームを作り、具体的なビジネスモデルを構築し実践をしていきます。理論と実践の両輪で、地方創生の担い手たる起業家の育成を目的としています。
44	CPYK40	グローバルビジネススキル	県	後期 11/29~	山梨から世界で活躍する起業家となるためには、グローバルで戦えるスキルが必須です。本科目ではグローバルで活躍している方の活動をビデオコンテンツの視聴と担当教員による解説により触れていただき、世界で戦えるビジネススキルを学びます。事業戦略、知的財産の活用、マーケティング、ファイナンス、M&Aをテーマとした一流の取り組みに触れていただき、また、世界一の大学併設インキュベーターであるDMZ（カナダのトロントメトロポリタン大学併設インキュベーター）との連携により英語でのコンテンツにも触れ、グローバルビジネススキルの向上も目的としています。
45	CPYK41	アイデア共創実践	県	前期 6/25~	自分がどのような社会を作っていきたいのか（よりよい社会を作っていきたいのか、或いは課題を解決したいのか）、ということを経験を通じて実現するのが起業です。多くの先輩起業家や専門家たちをメンターとして迎え事業をデザインしていく方法とそれを相手に伝える方法（プレゼンテーション）を学び、実践することを目的としています。
46	CPYK42	ビジネス共創実践	県	前期 7/27~	・今、世界はこれまでにない先行き不透明な状態にあります。そんな時代を生き抜くカギは、自分のしたいことを意識して行動できるかどうかにあると言えます。 ・『「自分なりの視点」で物事を見て、「自分なりの答え」を導き出す』。それこそがVUCAといわれる不確実性が高いこの時代において、どんな逆境に遭遇したとしても独自に生きていく力になります。 ・本講義では、「Mt.fujiイノベーションキャンプ」への参加を通じて、社会に存在する課題を自分ごととして捉える課題の発見力や共感力を育むとともに、不確実性の高い環境下でも未来創造や課題解決に向けた行動を起こしていくための精神と態度を学ぶ機会とします。